

データを読むのは
学問の基本！

優秀答案発表です。

問 2

問 1 で解説した以外の 2 つのデータを選び、
2 つを関連づけて、
何らかの推論を組み立ててください。

臨界点は24ポンド Y.O.さん

問2 組み合わせて語る

5

と

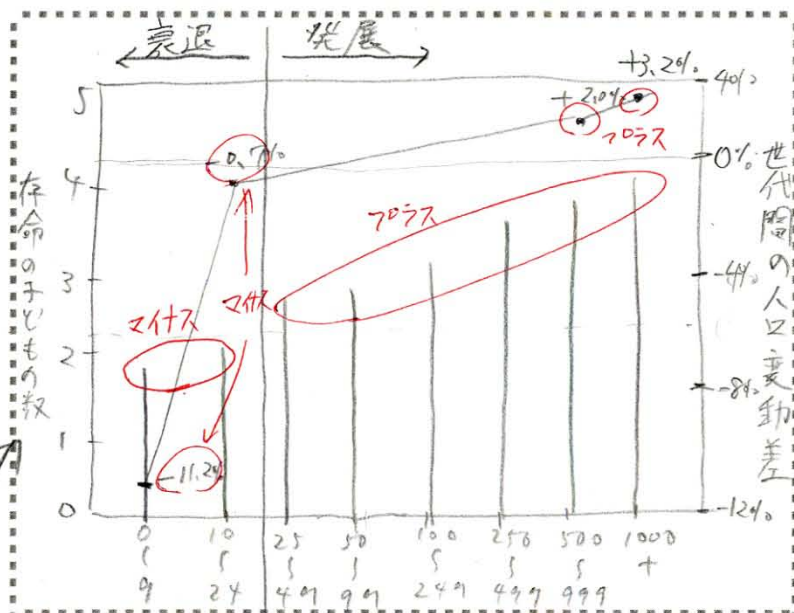
6

上で解説した以外の2つのデータを選び、2つを関連づけて、何らかの推論を組み立てて

ください。

資産家数が24ポイント未満の人達は⑤から人口
置換水準を下回り、世代が変わると、その人口が
減る、つまり衰退している(マウス)。一方、24ポイント
以上の人は、⑤、⑥のデータ共に発展している
(マウス)。よって発展するには24ポイント以上が
必要である。

⑤の
表6.2



⑥の
表6.5

↑ポイントとなる数値等を図示する

4

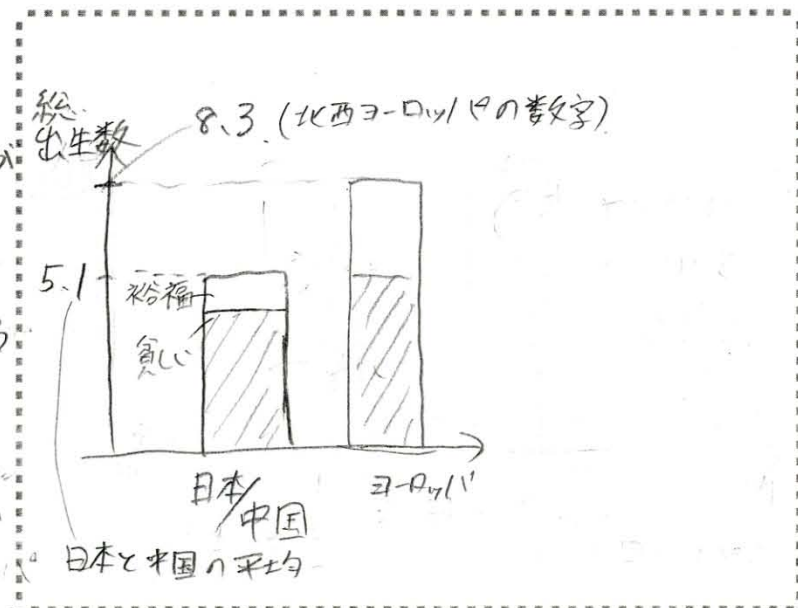
と

6

問2 組み合わせで語る

上で解説した以外の2つのデータを選び、2つを関連づけて、何らかの推論を組み立ててください。

④で、当時ヨーロッパの方が裕福な人が
 多く中国日本が貧しい人が多^のいことと出生率の
 関係と⑥の次世代での成力と格差よう
 と思^い裕福である方が子供が増えその子供も
 成功する割合がある。貧しい方は子供も
 成人する割合が減りか^ら貧しいままである人が
 多い。これが④での数値に影響している
 と考えられる。ヨーロッパでの総出生数が多く、
 日本、中国が少^い理由は上言^いが影響し
 ているのではないか。



↑ポイントとなる数値等を図示する

8

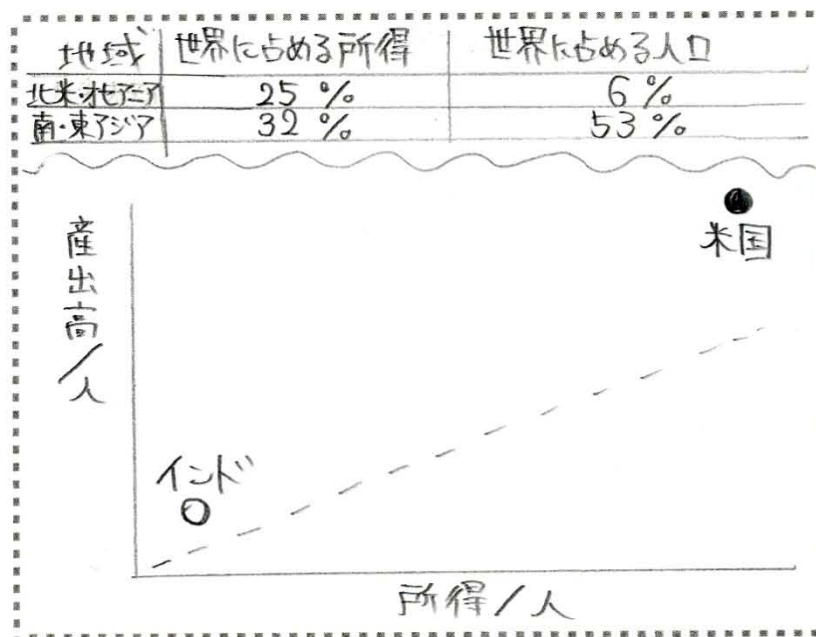
9

問2 組み合わせて語る

と

上で解説した以外の2つのデータを選び、2つを関連づけて、何らかの推論を組み立てて
ください。

米国とインドの綿織物産業の産出高を比べると米国の方が集約的であることがわかる。人口が少ないにもかかわらず、所得の配分率が高いため、産業が効率的に行われていると考えられる。



子ども数に注目 F.K.さん

問2 組み合わせで語る

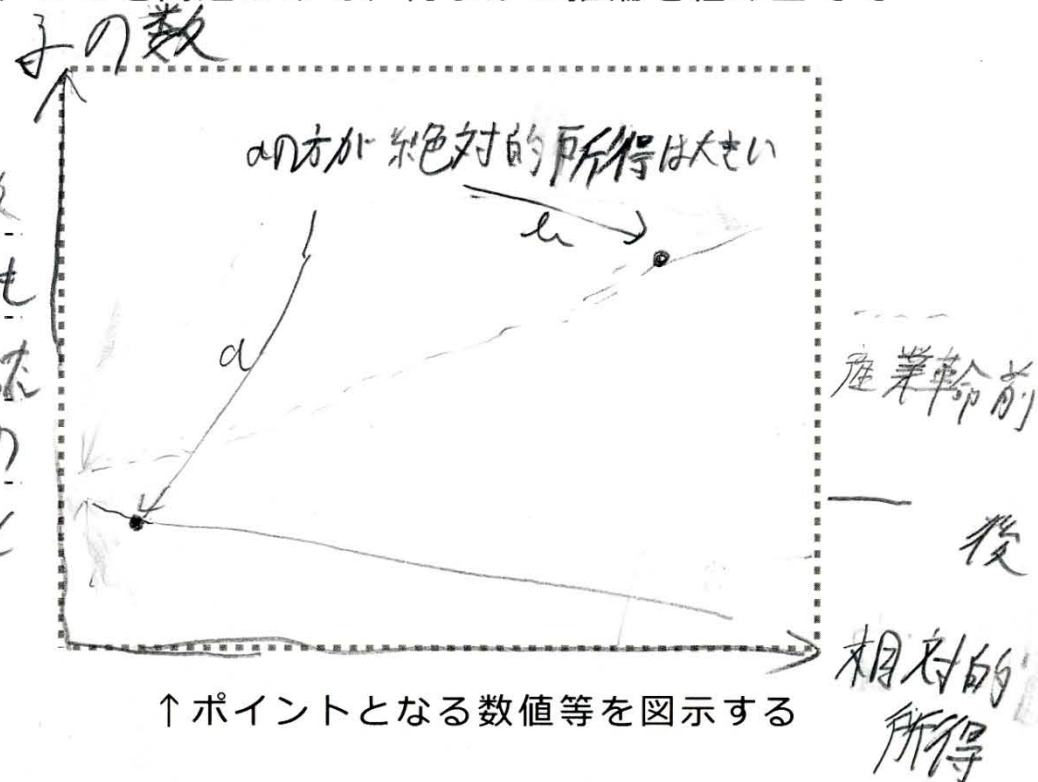
0

と

7

上で解説した以外の2つのデータを選び、2つを関連づけて、何らかの推論を組み立ててください。

やはりでは
産業革命後に富裕層と貧困層の子の数
の関係が逆転したのは、貧困層でも
子供を育てるための富を持つようになった
一方、富裕層は仕事のために子育ての
時間をとる余裕がなくなったこと
による。



肉食日本の将来 Y.Y.さん

2

と

5

問2 組み合わせて語る

上で解説した以外の2つのデータを選び、2つを関連づけて、何らかの推論を組み立ててください。

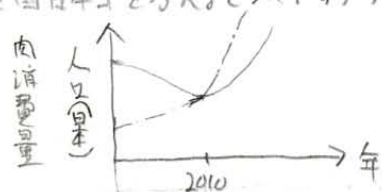
②より所得が高い方は肉の支出が高く、⑤より

遺産額が多い方は子供の数が多いことがわかる。

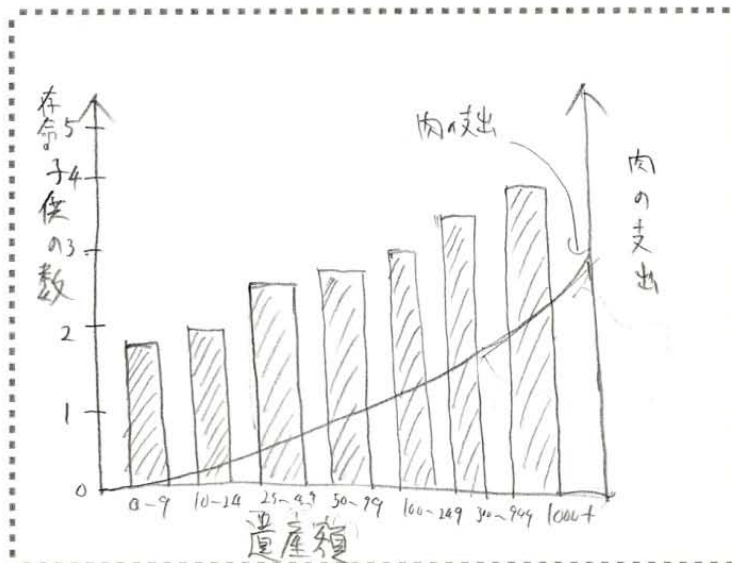
これよりある推論が考えられる。それは肉を消費する

ことが人間の生殖本能に何らかの作用を及ぼし、出生率が高くなるのではないかということだ。

ここで「肉消費国日本」を考えると以下のグラフが考えられる。



——:人口(日本)
-----:肉消費量



↑ポイントとなる数値等を図示する

前近代の幸福度 M.K.さん

問2 組み合わせで語る

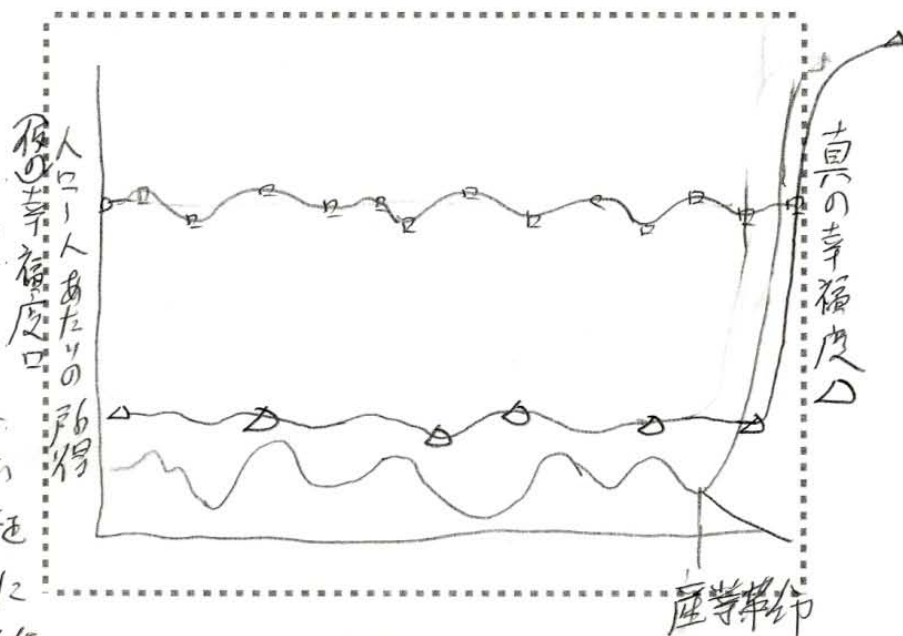
0

と

10

上で解説した以外の2つのデータを選び、2つを関連づけて、何らかの推論を組み立ててください。

⑩のグラフより、幸福度は所得に関係なく、幸福度は一定で、⑨のグラフより産業革命以前の所得と以後の所得が大きく変化しているけれども、幸福度は前述のように幸福度は今とかわらないと考えられる。しかし、今は先進国のように所得が増えるにつれて幸福度も増える。産業革命以前はみんなの所得が低く、この下限が低いことから今よりも幸福度が低かったと考えられる。上に真の幸福度を表している。



↑ポイントとなる数値等を図示する

経済データ

グラフに手が生えた！ S.M.さん

問2 組み合わせて語る

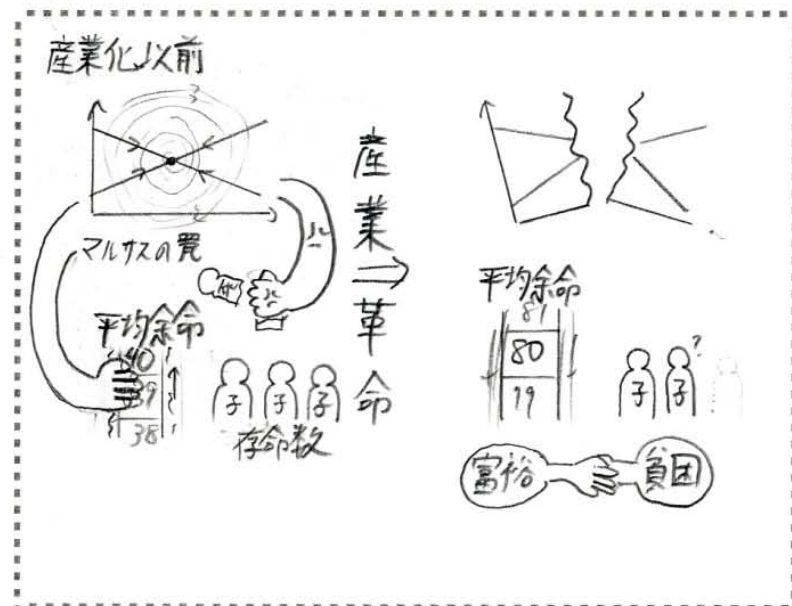
①

と

⑦

上で解説した以外の2つのデータを選び、2つを関連づけて、何らかの推論を組み立ててください。

マルサスの罠にとらわれていた産業化以前の英国だが、
現代のデータを参照すると富裕層と貧困層の差が大幅に
縮まり、存命の子供の数に至っては逆転している。
人間の歴史を支配していたマルサスの罠の均衡を打破し、
平均余命の格上げと共に、貧富による目に見える溝が
消えていく方向に時代が進んでいる。



↑ポイントとなる数値等を図示する

5月9日の講義内容は
著作権保護コンテンツを含むため

OCW-i

のみに公開します。